

謹賀新年 今年、華語辞典の発刊のめどをつけたく一所懸命やりたいと存じます。其れ付いて、次の件至急御一報御願申上げます。

(1) 同文書院時代「八年」何年位調査にかかつていましたか、多分八年(二十年前)かかったと思いますか

(2) 何時 年月日 中共文化部から日本人民に寄贈されたのであったか？寄贈者名 義宛名 中日友好協会と思うが

(3) 愛大で調査始の年月(その従業者数) 調査終了の見込、日

(4) 現在まで(愛大が引受けてから)どの位費用がかかったか 大体の額  
右至急御一報くだされ度御願申上げます。

不一

一月三日

本間喜一

鈴木先生

侍史

辞典刊行の趣意書等も

あつたら同封して送りくだされ度

〔注〕一九六一年か。

拝復 華日辞典刊行については毎々御配慮をいただき、今回新年早々この件のため御奔走下さる由まことに有難く御礼申し上げます。

御来示の件左の通り御返事申し上げます。

(1) 東亜同文書院時代、戦時末期時代は停顿していたが、その時期をふくめて約十年。

(2) 中華人民共和国から寄贈を受けた年月

昭和二十九年九月

寄贈者名 中国保衛世界和平委員会 劉貫一

受贈者名 日中友好協会

(3) 愛大で編纂開始の年月

昭和三十年四月

編纂完了見込

昭和三十六年年度末

(4) 愛大がひきうけてから現在までに要した費用

備品、雑品、人件費(内山正夫、宗内鴻、遠藤秀造)、志村良治、杉本晃、石場俊、その他学生アルバイト等を含む)、原稿依頼費、計八、四三七、一五二

右総費用の内訳は次の通りである。

物件費

三、二六四、一五二円

人件費

五、一七三、〇〇〇円

合計

八、四三七、一五二円

〔注〕 本間学長宛の返信。